

# 特集

## 令和4年度 施政方針

# 町制施行50周年を迎え 新たな時代を創造する飛躍の年へ

## アフターコロナも見据え、将来の豊山づくりを着実に進める

3月7日（月）、令和4年豊山町議会第1回定例会において、鈴木邦尚町長が令和4年度の施政方針演説を行いました。今月号の特集では、その全文をお知らせします。

### はじめに

令和4年第1回豊山町議会定例会の開会にあたり、関係諸議案の審議に先立ちまして、新年度、町政に臨む私の所信と主要な施策につきまして申し上げます。議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会全体に大きな影響を与え続けています。様々な制約が伴う中、「一人ひとりが大切にされる」という理念のもと、ワクチン接種の推進やプレミアム付商品券の販売、コロナ対策に係る設備費補助や事業者支援金制度の創出など、町民の皆様や事業者の方々、町内医療機関などのご理解とご協力をいただきながら、町民生活と地域経済を守るための取組を全力で進めてまいりました。

ワクチン接種が進んだことにより、昨年の秋以降、経済活動やイベント等が一旦は再開し始めましたが、今年に入ってから、新たな変異株・オミクロン株に

よる感染が全国で急拡大し、本町でも、予断を許さない状況であり、依然、厳しい状況が続いています。

既に開始しております3回目のワクチン接種を速やかに進めるとともに、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた町民の皆様のご生活や町内事業者を支援するための施策を講じるなど、国・県・医療機関と連携を図りながら感染拡大防止に取り組んでまいります。また、令和3年9月に策定いたしました「第5次総合計画 新型コロナウイルス感染症を踏まえた施策実施の方向性」に基づき、W I T H コロナ、A F T E R コロナの視点から、各種施策を実施してまいります。

新年度は、町制施行50周年という本町にとって、大きな節目の年となります。コロナ禍で失われつつある、人と人とのつながりの機会を取り戻せるよう、「ふれる・つながる・はばたく」をテーマとし、知恵と工夫を凝らした50周年記念事業を展開し、新たな時代を創造する飛躍

の年としてまいります。

4月下旬に開催する記念式典を皮切りに、記念切手の発行、愛知県植樹祭の実施、24時間テレビ中継イベントの開催、本町出身アーティストによるミュージックビデオの制作など、年間を通じ様々な記念事業を展開してまいります。なお、既に町民の皆様や町内事業者の皆様からは、ご寄附やご協賛のお申し出もいただいております。役場のみならず、多くの皆様の参画やサポートのもと記念事業を実施することで、豊山に対する愛着や誇りを一層高める機会としてまいります。

コロナ禍において加速する社会のデジタル化や複雑多様化する社会の急激な変化、そして次代を担う子どもたちへの支援など、新たな時代の要請に的確かつ迅速に対応するため組織の見直しを行ってまいります。

町の重要施策の企画立案や調整機能を強化するため、本庁組織の筆頭に「企画調整部」を新たに設置してまい

ります。「企画調整部」には、「企画課」、「防災安全課」の2課と、「デジタル化推進室」を設置してまいります。「デジタル化推進室」では、デジタル・トランスフォーメーション、DXを推進し、町民サービスの向上や業務効率化を推進してまいります。

また、子育てに対する不安感の緩和と、子どもへの健やかな成長を支援する体制を強化するため、生活福祉部内に「子ども応援課」を新設してまいります。併せて、現在、教育委員会が所管しております「放課後子ども教室」と「子ども会」に関する業務を生活福祉部に移管し、子育て支援業務の一元化を行い、サービスの充実向上を図ってまいります。

さらに、組織の見直しの中で、「係制」から「グループ制」に変更してまいります。限られた人材を柔軟かつ効果的に配置するとともに、若い職員への登用を積極的に図ることに伴い、職員の能力・意識の向上につなげてまいります。

